

	2006-07	2007-08	2008-09	2009-10	2010-11
1	松木先生 ポジション論	木部先生 子どもの精神分析の治療過程	北山先生 フロイトを読む	菊地先生 夢の臨床	菊地先生 転移・逆転移
2	木部先生 こどもの心的世界とアセスメント	菊地先生 内的世界—アセスメント面接を通じての見立て	福本先生 投影同一化概念の誕生と変遷	松木先生 ビオンの概念:♀/♂	松木先生 ビオン:Kリンク
3	小野先生 思春期の心理療法	松木先生 抑うつ心理療法	菊地先生 摂食障害の精神分析的臨床	飛谷先生 ヒステリー	飛谷先生 ヒステリー2治療論
4	鶴飼先生 発達障害児の心理療法	平井先生 思春期・青年期の発達障害の心理療法	深津先生 親面接について 鶴飼先生 齋藤先生	鶴飼先生 自閉症児との精神分析的臨床 木部先生 山上先生	木部先生 子どもの精神分析:クライン派と自我心理学 森先生
5	北山先生 フロイトの治療記録	奥寺先生 精神分析と心的外傷 福本先生	木部先生 こどものこころの情景(センタク) 飛谷先生	鈴木先生 学校へのコンサルテーション(ワークディスカッション) 相田先生	北山先生 セクシュアリティの日本語臨床 福本先生 美学的葛藤:メルツァーから見た精神分析 飛谷先生
6	山上先生 メルツァーを語る	鶴飼先生 民族的イデオロギと精神分析的臨床療法 齋藤先生	松木先生 ビオンと向かい合う	藤山先生 甘え概念	

	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16
1	菊地先生 解釈について	鶴飼先生 子どもと家族の包括的アセスメント	マルヤ・シルマン先生 解釈が子どもに届くとは?	松木先生 逆転移と精神分析臨床	松木先生 × 仙道先生 精神分析臨床のためのアセスメントの実際
2	松木先生 ビオン3:グリッド	菊地先生 精神分析的臨床療法の実際:アセスメント	飛谷先生 夢解釈の方法	飛谷先生 夢解釈の方法Part 2	皆川先生 病理的組織化(その2)
3	鶴飼先生 子どもの精神分析:被虐待児との心理療法、転移・逆転移 齋藤先生	松木先生 ビオンの臨床技法	別府先生 自閉症の理解の最前線 平井先生	皆川先生 病理的組織化	鶴飼先生 発達障害を持つ子どもと心理療法
4	鈴木先生 学校教育と精神分析-コンテナーメントの作用	東中園先生 統合失調症の精神分析療法の可能性	松木先生 転移の臨床	鶴飼先生 精神分析的乳児観察と調査・研究	鈴木先生 精神分析を応用する実践の最前線-Work Discussion Method
5	渡辺先生 乳幼児研究の最近	木部先生 現代のこどもの精神分析	鈴木先生 集団としての学校 ハジ先生	木部先生 ヘンリー・ダーガーと自閉症心性	藤山先生 精神分析の実践を開始するという事
6	飛谷先生 ナルシスム:無意識的羨望と死の本能の臨床	飛谷先生 ナルシスム2:投影同一化と主体性の体験	藤山先生 修行について考える(午前落語つき)	東中園先生 × 北村先生 精神科臨床における精神分析の今後	飛谷先生 メルツァーの「閉所/クロス・トラウマ」

	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2021
	『メラニー・クラインについて学ぶ—対象関係論の基礎』	『ビオンとユニコトについて学ぶ』	『現代クライン派精神分析を学ぶ—ポスト・クライン派の臨床』	発達障害を考える—精神分析、そして発達研究と精神病理学から	虐待とその影響を考える—精神分析に根差した理解と支援
1	仙道先生 クライン派対象関係論の源流—フェレンツィとアブラハム	浅田先生 集団への精神分析的アプローチ	皆川先生 病理的組織化と心的退避	平井先生 「発達障害を考える—精神分析、そして発達研究と精神病理学から」概説	平井先生 子どもの虐待と精神分析的臨床療法
2	鶴飼先生 遊戯技法の発見と子どもの内的世界の探求	松木先生 思考/考えることと精神病の精神分析	飛谷先生 メルツァーの閉所/クロス・トラウマ:その二	脇谷先生 児童期の発達障害—精神分析的臨床療法からの問い—	飛谷先生 思春期における自閉と非虐待の交差点—ヒューマニティの空隙
3	脇谷先生 早期エディプス状況と早期超自我	飛谷先生 コンテナーメント・マインド—「名づけようのない恐怖」の重要性と臨床的インフラ構造	福本先生 ベティ・ジョセフの理論と技法:その源と今日の位置	飛谷先生 現代の思春期プロセスと発達障害—ASとADHDの精神分析的臨床療法の実践とその可能性	鶴飼先生 子どもの虐待の世代間伝達とアタッチメント—親・そして親子の支援
4	松木先生 メラニー・クラインのポジション論	鶴飼先生 ユニコトの移行対象論	浅田先生 英国現代精神分析におけるロナルド・プリンの貢献	平井先生 発達障害を持つ子どもと家族のアセスメントと親との取り組み	鈴木先生 多職種協働や組織機能を触む虐待トラウマのインパクト
5	福本先生 「投影同一化」概念の誕生と変遷	館先生 ユニコトの臨床	平井先生 タスティンと自閉症の子ども心の世界的探求	内海先生 自閉症の精神病理—理解のための補助線 赤木先生 ヴィゴツキーが、この現代に、自閉症を語ったら?	福本先生 成人と被虐待:さまざまな水準での表れ
6	飛谷先生 「羨望」	平井先生 ビオンと子どもの精神分析的臨床療法	脇谷先生 アルヴァレズの臨床から学ぶ	福本先生 精神分析的アプローチと成人自閉スペクトラムの問題	脇谷先生 Alvarezの臨床から学ぶ 雀先生 メンタライゼーションに基づく治療(MBT)~外傷的育ちを生きる子どもの心を見わたす心>を育てる~

	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25
	子どもを取り巻く環境—その精神分析的理解—	診ると観るの交わるところ—症状と精神分析—	社会との接点の中で精神分析理論を再考する	精神分析の見立てと対応について—セラピーに捉われないアセスメント・コンサルテーション—
1	平井先生 子どもにとっての環境とは	衣笠先生 精神医学的症状を精神分析的にどうとらえるのか—精神医学的アセスメントと精神分析的アセスメント—	北村先生 精神分析におけるセクシュアリティとジェンダー	鶴飼先生 サイコロセラピーとコンサルテーションの基礎としての乳児観察
2	飛谷先生 子ども・家族・コミュニティーポスト・コロナ時代の思春期	平井先生 うつへの精神分析的理解	平井先生 子どもと家族の分析臨床の行方—家族の変容と精神分析の課題	平井先生 子どもと家族のアセスメントとコンサルテーション
3	生地先生 心の育ちを支援する環境—虐待を受けた子どもと発達障害を持つ子どもへの支援を中心に—	横井先生 対人関係/関係精神分析の解離へのアプローチ	奥寺先生 同一化の文化論—孝行、自己犠牲、甘え—	鈴木先生 精神分析の扉を開くワークディスカッション体験・観察・記憶・言語化・記述—
4	北川先生 ガヴィニオ先生 アタッチメントとSensitivity 子育て支援としてのMentalization Based Treatment for Children(MBT-C)	内海先生 ADHDの理解を深める—精神病理学的観点から— 木部先生 発達障害のこころの発達	浅田先生 自己の病理が犯罪化すること 櫻井先生 加害者の被害者生を見出すことへの問い 田中先生 同一化を強いられた自己をめぐる臨床	若佐先生 令和の臨床に役立つアセスメントとアプローチ—成人のクライアントとともに歩む—
5	木部先生 子どもを廻る環境—特に家庭崩壊に関して—	奥寺先生 「アセスメント」の謎	西村先生 精神分析臨床の「場」を再考する—パンデミック経験をを通して—	飛谷先生 被虐待トラウマ臨床と施設のコンサルテーション:プロト・メンタル・モデルの有用性について
6	岩倉先生 コミュニティへの介入の精神分析的理解	若佐先生 精神分析的・アセスメントの低頻度面接の応用 武藤先生 アセスメントと面接頻度を考える	森先生 精神分析はなぜ戦争について考えるのか	橋本先生 個人精神療法以外の臨床実践を精神分析的視点から検討する